

1 国の動きについて(社会保障審議会介護保険部会における検討動向)

- 次期制度改正に向けては、2040年に向けて生産年齢人口が急減し、85歳以上人口が急速に増加していくことが見込まれる中で、以下に掲げる点について順次議論していく。
 - ・2025年に向けて構築を図っている地域包括ケアシステムを更に深化・推進する。
 - ・介護ニーズの増大と労働力の制約への対応を両立させ、制度の持続可能性を確保する。

当面検討を行う論点

- ◎地域包括ケアシステムの更なる進化・推進
 - ・在宅・施設を通じた介護サービスの基盤整備、住まいと生活の一体的な支援
 - ・医療と介護の連携強化、自立支援・重度化防止の取組の推進
 - ・認知症対策、家族を含めた相談支援体制
 - ・地域における介護予防や社会参加活動の充実
 - ・保険者機能の強化
- ◎介護人材の確保、介護現場の生産性向上の推進
- ◎給付と負担
- ◎その他の課題

2 介護保険制度をとりまく状況

- ・総人口の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- ・今後の介護保険をとりまく状況(1)・・・・ P 3
- ・今後の介護保険をとりまく状況(2)・・・・ P 4
- ・今後の介護保険をとりまく状況(3)・・・・ P 5
- ・今後の介護保険をとりまく状況(4)・・・・ P 6